

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	社会学		
担当者(Instructors)	山口 佐和子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は、社会学の基礎を学ぶものである。社会学的想像力・思考・知識を得ることを目的としている。社会学は、哲学を祖とし、「どのように生きるべきか」を問いとしてかかげる生きた学問である。さまざまな切り口から、社会学の面白さを学ぶ。インタラクティブな授業を学生と教員で作り上げることを目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	テキストを使用し授業を実施する。必要に応じて補足資料を配布する。メディア教材で適切なものがある場合は活用する。アクティブラーニングの手法を導入し、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションにも取り組ませる。リアクションペーパーを活用し、学生の理解度を確認しながら授業を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	【対面】授業の概要、テキスト・参考になる文献、成績評価方法等を説明し、質問も受け付ける。	<input type="checkbox"/>
第2回	社会学の理念と全体構造	【対面】社会学という学問の定義と、社会学のさまざまな分類方法からその全体像をつかむことができるように解説する。	<input type="checkbox"/>
第3回	西欧社会の社会学史	【対面】19世紀初頭にフランスのコントが自著の中に「社会学」という言葉を登場させてから、その後欧米でどのような学者たちが社会学を今日まで発展させてきたのかを探る。	<input type="checkbox"/>
第4回	日本の社会学史	【対面】19世紀後半、明治維新後に「社会学」という学問がイギリスのスペンサーによってもたらされ、第2次世界大戦後には民主化と結びつきながら発展してきた日本の社会学史を探る。	<input type="checkbox"/>
第5回	社会学理論とは何か(1)	【対面】社会学者の数だけ、社会学理論はあるともいえる。そのなかで、三大社会学者のデュルケム、ジンメル、ヴェーバーに焦点化して、かれらの理論的特徴を説明する。	<input type="checkbox"/>
第6回	社会学理論とは何か(2)	【対面】パーソンズ、ガーフィンケル、サックス、ゴフマン、ギデンズ、ブルデューなどの社会学理論の解説と、その理論を現代社会の抱えるわたしたちの問題にあてはめて検討する。	<input type="checkbox"/>
第7回	社会調査と何か	【対面】わたしたちの生活は社会調査と切り離せない。ある場所に新しくコンビニができるのも、あるいは閉店するのも、企業のマーケット調査のなせるわざである。社会調査の基礎的知識を解説する。	<input type="checkbox"/>
第8回	家族をめぐる社会学	【対面】家族は、国家のなかでもっとも小さな社会集団である。その特徴と変遷、また問題点を夫婦間や親子間の関係に焦点化して解説する。結婚、少子化、リプロダクティブ・ヘルス・アンド・ライツ、児童虐待、DV、性別役割分業について触れる。	<input type="checkbox"/>
第9回	地域をめぐる社会学	【対面】都市社会学(アーバニズム)がもたらしたサブカルチャーなど都市文化について解説し、またわたしたちの生活を豊かにする「コミュニティ」、「パーソナルネットワーク」といったキーワードなどを解説する。	<input type="checkbox"/>
第10回	多文化社会をめぐる社会学	【対面】わたしたちの国は、長く、単一民族国家と言われてきた時代があった。しかし、現在はまったく異なる。多文化共生のためにどのような思考が必要であるか考えていく。	<input type="checkbox"/>
第11回	階級・階層をめぐる社会学	【対面】わたしたちの国は、階級や階層の目立たない社会と言われてきたが、もはやそれは過去のものになりつつある。日本の格差問題に焦点化し、今後の課題を検討する。	<input type="checkbox"/>

第12回	社会運動・NGOをめぐる社会学	【対面】近代社会の社会運動は、労働問題に端を発し19世紀に始まった。今現在世界各地でさまざまな目的をもったNGO、NPOが活躍している。その現状を説明する。	<input type="checkbox"/>
第13回	メディア・情報化をめぐる社会学	【対面】インターネットの起源は、米国の軍事利用にあった。現在インターネットを利用したSNSは利便性と危険性をはらみながら、社会への影響力を拡大し続けている。「情報テクノロジー」と「社会のありよう」について考えていく。	<input type="checkbox"/>
第14回	インナートリップとしての社会学	【対面】社会のなかで生き延びていくためには、コミュニケーションが欠かせない。コミュニケーションには、①自己と他者とのものと②自己と自己とのものがある。さまざまな角度からコミュニケーションを取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第15回	全体のまとめ	【対面】第1回から第14回までの内容を振り返り、学生からの質問を受け付け、この授業全体で学んだことをさらに深める。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

予習：次回の学習予定範囲のテキストの部分を読む。わからない語があれば自分で調べる。テキスト内容に関連した国内外の社会問題について新聞記事等から情報を得て、それに対し自分なりの意見を持っておく。（2時間程度）復習：授業で学んだことを復習する。理解できない点があれば、ノートにまとめ、次回の授業で教員に質問できるようにしておく。（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題を出した場合は、翌週にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	現代社会の諸相を、世界・国・地域・家族の多方面から理解できる。さまざまな社会学理論を理解し、自分の人生の課題解決に応用できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
60%			40%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	宇都宮京子、西澤晃彦編著『よくわかる社会学 [第3版]』ミネルヴァ書房	9784623089710
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		